

『ときわの杜論叢』刊行に寄せて

基盤教育部門長、教育人間科学部教授

高橋 邦年

平成25年度から国際戦略推進機構が開設されました。その下位部門の企画推進部門と基盤教育部門には、それぞれ、4名（平成26年度からは5名）と10名の専任教員が所属しております。国際的な場面で活躍できるような人材を育てるプログラムを整備し、その実現のために不可欠な語学力のアップを図る役目をこれらの部門は担っていると断言してもよいでしょう。私は後者を担う基盤教育部門長として、この一年間はバラバラに落ちているジグソーパズルのピースをこつこつと並べて行く作業に似たことをしてきたような気がいたします。どこに置いたらよいか未だにわからないピースも少なくありません。また、どこに落ちているのか、はたまた、そもそも存在するのか否かもわからないピースもあると思われまふ。とは言え、次第に絵柄全体が見えてきているように感じています。これは偏に関係する先生方および事務方のお陰であると思っております。

具体的には、組織の整備とそれに伴う諸規則の改訂・制定などの作業がありました。事務方の準備が十全であつただけでなく、機構の専任教員がよいものを作り上げようという高い意識をもち、真剣に議論をしてくださいました。改めて思い返すと、関係者の1年間のご苦勞に頭が下がります。

機構の先生方の本年度の活動の中で忘れてならないことの一つが、この『ときわの杜論叢』という国際戦略推進機構の紀要の創刊です。紀要準備委員の先生方はもちろんのこと、どの先生方も、紀要の題名の決定に始まり、発行時期、内容、投稿規定などを策定するときに、会議の場でも、メール審議の場でも、いろいろな案を積極的に出しあってくれていました。その甲斐あつてか創刊号が平成25年度内に発刊の運びとなり、喜ばしいかぎりです。

『ときわの杜論叢』は単に研究や報告を公表する場であるだけでなく、機構の先生方が和を築きあげる一助となる場でもあるでしょう。また、機構と機構以外の「外」とのインターフェースとしての役割も

もっています。創刊号を含めて『ときわの杜論叢』が今後研究や教育に大いに貢献して行くことを祈念してやみません。

機構所属の先生方，紀要の創刊おめでとうございます！